



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域みんなが観光の担い手！地域の魅力を発信するお手伝いをしています！

中田 浩康 (なかだ ひろやす)

有限会社アグリテック 代表取締役社長



○ 登録者情報

所在地

北海道東川町

略歴

栃木県出身(小山市)。東京農業大学卒業(生物産業学部生物生産学科)

●1997～2001年 大学卒業後、農業・農村関係の出版社である一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)に勤務。在職中に、営業・取材等で全国幾多の農山漁村をまわり、地元農家をはじめそこで生活する多くの人々に触れるうちにそれぞれの地域ごとに持つ地域資源の多様性について感銘を受ける。

●2001年に農文協を退職しフリーの農村ライターとして北海道旭川エリアを拠点に活動。

●2003年に同社の設立とともに入社。地域資源を活用した体験と観光を結びつけた受地主導による「観光まちづくり」ビジネスを展開。とくに都市と農村の交流活動(グリーンツーリズム分野)では、修学旅行等での農業体験や教育的観光プログラムの受入体制整備のほか、地域資源を活用した体験プログラムの企画開発、地域と観光客(利用者)、インバウンドを結び付けるコーディネート等をおこなっている。そのほかまちづくりアドバイザーとして、各自治体や団体と連携し各種プロジェクトに関わりながら交流人口増加からの地域活性化のお手伝いをおこなっている。また地域交流ビジネスとして独自の「6次観光化」を提唱している。

●2007年より企画営業部長、2012年より代表取締役に就任、現職。

●2007年～地域再生マネージャー(一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団))

●2008年～総務省地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録)

●2008年～2009年 雇用創造推進アドバイザー(北海道労働局)

●2012年～2019年 農村活性化支援アドバイザー(農水省・制度終了)

など

著書・論文等

●月刊誌「北海道経済」コラム連載中

●「農業体験受入Q&A集」(北海道協同組合通信社刊・監修共著)

●「月刊ニューカントリー」短期連載

●「月刊 教育旅行」(公益財団法人日本修学旅行協会発行寄稿)、「月刊AFCフォーラム」(「地域再生への助走」寄稿)など、寄稿多数

○ 地域のみんが観光の担い手！地域の魅力を発信するお手伝いをしています！

取組の内容

弊社では創業以来地域資源を活用した体験型観光のプログラムの開発・商品化をおこなっており、その培ったノウハウをもとに、「観光まちづくり」の視点での地域活性化のサポートをしています。

●地域資源調査分析と活用

自分たちが住んでいる地域の自然や歴史、文化、また日常の生活文化などに着目した地域資源の掘り起こしとコンテンツへの活用のご提案をしています。

●地域資源を活用した観光商品化、交流活動事業

体験観光企画、サステナブルツーリズム、SDGs、移住定住ツアー、農泊・農村体験ツーリズム、インバウンド商品、ワーケーション、オンラインツーリズムなどといった、地域資源を活用した観光を柱にした交流人口増加の受入のノウハウなど指導・助言をおこなっています。

●受地主導型(着地型観光)受入環境整備とブランディング、ネットワーク構築

観光資源に磨きをかけるプログラムづくり、内発的なホスピタリティの育成などといった地域観光人材の育成などの指導をおこなっています。地域資源を観光資源化し、来訪者が訪れてみたくなるきっかけづくりをしていきます。



オンライン酒蔵ツーリズムの様子



地域資源調査の様子

実績

過去2年間における実績

- 着地型観光や農山漁村ツーリズムにおける各種講演等
- 観光アクティビティ商品開発、受け入れ体制整備(石狩市、東川町、各観光協会、DMO等)
- 教育旅行における観光プログラムの開発・体制整備(SDGs、農家民泊体験体制整備など)
- インバウンド観光客向けの体験アクティビティ商品開発、人材育成(DMO、各観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等)
- ワーケーション、オンラインツアーなど、コロナ禍におけるニューツーリズム開発(東川町、DMO、各観光協会等)

工夫した点や苦労した点

持続可能なまちづくりをおこなっていくには、地域に経済がまわる仕組みが必要。交流人口や関係人口においても、地域に来訪してくれる、地域に興味を持ってくれるという点で、どのようなターゲットを対象に地域の再確認をするか、地元の魅力探しを常におこなっています。また、コロナ禍で観光業界は厳しい状態が続き、その中でも感染拡大予防をしっかりとった新たな観光商品開発には業種を問わずさまざまな知恵を出し合うことができます。

ひとことPR

地域が地域であるために、まずは自分の住んでいる地域の資源(宝物)を探すことから始めてみませんか? 地元のみなさんが地域資源を知り他人事ではなく自分事(当事者)となって考えていく場を創出していきます。それら地域資源を活用しながら観光による交流人口増加の推進を切り口とした地域活性化を図っていきます。「観光まちづくり」の視点から地域の課題解決、地域再生の一助としてご助言できればと思います。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 教育旅行・研修旅行プログラムづくり、SDGsを活用した観光プログラムづくり
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	○ その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

有限会社アグリテック	http://www.agtec.co.jp/

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]agtec.co.jp	その他	
---------	-------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。